

新・中国地方下水道ビジョン(案)に対するご意見と回答

「新・中国地方下水道ビジョン(案)」に関しまして、ご意見をいただきまして、誠にありがとうございました。皆様のご意見につきまして、事務局より下記のとおり回答させていただきます。

* (意見募集は、平成21年5月29日～6月11日において実施させていただきました。)

なお、皆様のご意見を踏まえ策定しました「新・中国地方下水道ビジョン」を掲載させていただいております。

『経営状況を踏まえた事業展開を求めるご意見』	事務局からの回答
<p>「現状では、使用料収入で維持管理費がまかなえていません」(40ページ)とあり、そうした事業については見直しが必要と考える。</p>	<p>現状を課題と認識しており、本ビジョン(案)においても効率化や経営計画の策定等の対策の必要性を「5年間の取り組み」の中でも明記しているところです。ご意見の趣旨を踏まえ、事業の見直し等による課題解消を推進して参ります。</p>
<p>「現状では、使用料収入で維持管理費がまかなえていません」(40ページ)とあり、14処理区の供用開始には反対です。税金をつかってまで下水道を進めなければならないのか。</p>	<p>本ビジョン(案)においても効率化等の対策の必要性を「5年間の取り組み」の中でも明記しているところであり、新たな処理区の整備にあたっては、効率化の検証が必要と考えます。一方で、最大限効率化した上で、水質の保全等の公共目的を達成するために必要な下水道整備は、財政支出をしても実施する必要があります。その場合には、事業者が納税者に対して水質の保全等の公共目的について説明し、理解を求める努力が必要であると考えます。</p>
『浄化槽形式での対応を求めるご意見』	事務局からの回答
<p>山の上にある数件の物件のために下水道を作り、使用者の下水道使用料だけで賄おうとすることは不可能だと思います。地域に見合った汚水処理の整備を行う必要があると思います。下水道処理方式から浄化槽方式への切り替えが必要と考えます。</p>	<p>本ビジョン(案)47ページ「県構想の見直し」で記載した効率的な整備手法選定の取り組みを一層推進する必要がある旨のご意見と思われる。ご意見の趣旨を踏まえ、一層の効率化を推進して参ります。</p>
<p>下水道施設の耐震化は不可欠であるが、浄化槽が阪神・淡路大震災で被害が少なかったことを踏まえ、現在の浄化槽施設についてはそのまま残しておくべきである。</p>	<p>本ビジョン(案)47ページ「県構想の見直し」において、効率的な整備手法選定を推進する必要性について記述しておりますが、これにあたっては耐震性の確保に要する費用も含めて総合的な効率性の検討が必要と考えます。ご意見の趣旨を踏まえ、一層の効率化を推進して参ります。</p>